

耐震改修促進法第9条に基づく要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果の公表について

耐震改修促進法に基づく耐震診断結果について取りまとめが完了しましたので、以下のとおり公表いたします。

■百貨店、物品販売業を営む店舗

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の状況・予定		備考
					最小値	内容	実施・完了時期	
1	大分中央ビル・横萬ビル (大分フォーラス)	大分市中央町一丁目 32番地 外21筆	物品販売業 を営む店舗	—	—	建替え	平成30年度 建替工事完了済	
2	トキハ 本店	大分市府内町二丁目 1番地1 外30筆	百貨店	5-3 一般財団法人日本建築 防災協会による「既存鉄 筋コンクリート造建築物の 耐震診断基準(2001年 版)」に定める「第2次診 断法」	$I_s/I_{so} = 1.01$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.48$	耐震改修	平成29年度 改修工事完了済	0.3・Z・G・U=0.27
				5-6 一般財団法人日本建築 防災協会による「既存鉄 骨鉄筋コンクリート造建築 物の耐震診断基準(2009 年版)」に定める「第2次診 断法」				0.28・Z・Rt・G・U=0.252(非充腹)
3	トキハインダストリー 明野センターアクロス B・C・C'・北西棟	大分市明野東一丁目 2342番地	物品販売業 を営む店舗	5-3 一般財団法人日本建築 防災協会による「既存鉄 筋コンクリート造建築物の 耐震診断基準(2001年 版)」に定める「第2次診 断法」	$I_s/I_{so} = 1.00$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.47$	耐震改修	平成29年度 改修工事完了済	0.3・Z・G・U=0.27
4	トキハインダストリー 南大分センター	大分市大字奥田 字烏帽子627番地1、 627番地6、628番地1、 628番地2、 字狭間618番地3	物品販売業 を営む店舗	3-2 —	—	建替え (除却)	平成30年度 除却工事完了済	
5								

※構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果について

- ・対象建築物が構造上複数の棟で構成されている場合は、その内の最少の値を表記しています。
- ・対象建築物ごとに、地域及び用途を考慮した安全性の評価をしています。

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性			指標の判断基準
	I	II	III	
3-2 一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針(2011年版)」	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$	I:地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い II:地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある
5-3 一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準(2001年版)」 に定める「第2次診断法」	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$	III:地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い
5-6 一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準(2009年版)」 に定める「第2次診断法」	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$	※震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。 いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣 化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対 しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。